

各施設 FUS ご担当医師 各位

第9回日本経頭蓋集束超音波治療学会 シンポジウム演題ご応募のお願い

『集束超音波治療のその後』

拝啓

仲秋の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第9回日本経頭蓋集束超音波治療学会におきまして、MRgFUS(集束超音波治療)の現状と課題に焦点を当てた医師向けシンポジウムを企画いたしました。つきましては、貴施設における貴重な臨床経験と知見をご発表いただきたく、演題のご応募をお願い申し上げます。

低侵襲治療としてMRgFUSの普及が進む一方で、日常臨床においては「治療後の再発例に対するマネジメント」や、「適応困難例への対応」といった課題に直面することも少なくありません。本シンポジウムでは、これら実臨床における重要なクリニカル・クエスチョンに踏み込み、各施設の治療戦略や成績を共有・議論することで、今後のより良い治療方針の確立を目指したいと考えております。

つきましては、下記要領にて演題をご検討いただけますと幸いに存じます。

実臨床に即した率直なデータや知見を共有いただくことで、先生方とともにFUS治療全体の適応判断と治療戦略の深化を図る実りあるセッションといたしたく存じます。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、貴施設からの積極的なご応募を心よりお待ち申し上げます。

敬具

2026年9月18日

第9回日本経頭蓋集束超音波治療学会

会長 安藤 肇史

(国立病院機構 宮城病院 脳神経外科)

【演題募集に関するお問合せ】

第9回日本経頭蓋集束超音波治療学会 運営事務局

アップローズ株式会社

〒440-0886 愛知県豊橋市東小田原町48番地 セントラルレジデンス201

Tel: 0532-21-5731 E-mail: fus@uproses.co.jp

演題募集要項

1. 募集期間

2026 年 10 月 19 日(月曜日)まで

2. セッションテーマ

集束超音波治療のその後

3. セッションの目的・発表内容

以下のいずれか(または双方)の観点を含めたご発表をお願い申し上げます。また、可能であれば各対応後の治療成績(治療効果や安全性、長期経過など)についても併せてご提示いただけますと幸いです。

・MRgFUS 治療後の再発例に対する治療戦略

MRgFUS 施行後に症状が再発・再燃した症例に対し、施設としてどのような追加治療・後続治療(再照射、DBS、RF 凝固術、薬物調整など)を選択・実践されているか。

・適応外基準(SDR 不良など)となる患者へのアプローチ

患者様が MRgFUS を希望されて受診したものの、SDR(Skull Density Ratio)不良等により治療適応外と判断せざるを得なかった症例に対し、どのような説明を行い、代替治療やマネジメントを提案・実施されているか。

4. 演題の採否・形式について:

基本的には「シンポジウム演題」としての採択を予定しております。

応募多数の場合やセッション構成の都合により、「一般口演」でのご発表をお願いする場合もございますので、あらかじめご了承くださいと幸いです。

5. 応募資格

FUS 治療に携わる医師

6. 演題登録方法

登録用抄録データを Microsoft Word ファイルにて作成し、運営事務局までメールにてご提出をお願いいたします。

7. 抄録

Microsoft Word ファイルにて、日本語 800 文字以内(図表添付不可)をお願いします。

8. 抄録送信方法

送 り 先: 第 9 回日本経頭蓋集束超音波治療学会運営事務局 fus@uproscs.co.jp

送信方法:

【件名】第 9 回日本経頭蓋集束超音波治療学会演題登録(集束超音波治療のその後)

【本文内容】

お名前(漢字・フリガナ):

所属施設:

所属部署:

電話番号:

E-mail:

応募セッション: 集束超音波治療のその後

演題タイトル: